



おぎはら耳鼻咽喉科の言語聴覚士が月1回発行するカスタネット通信の第10号です。今月で東日本大震災から10年です。先日も大きな地震がありましたね。首都直下地震への備えも必須と言われていますが、今月号はオギジビの防火・防災対策のおはなしです。

消防計画

昨年、防火・防災管理講習を修了し、オギジビの防火・防災管理者となりました。この講習、かなりハードでした。

ハードなポイント1：コロナのために受講者枠が通常より制限されているためか、申し込みが殺到し、あっという間に満席となります。私は日付が変わった瞬間に申し込みましたが、8番目でした。

ハードなポイント2：講習は2日間で行われるのですが、9:00～17:00までぎっちり、トイレ休憩はあるものの、150分の講義もありました。大学の講義より長い…。

ハードなポイント3：せっかく講習を受けるのだから、前の方の席で食い入るように講師の話を聞きたかったのですが、席が予め決められていて後ろの方の席でした。感染予防のため、席の間隔を開けていて人数の割に部屋が広いので、講義スライドがほぼ見えないのです。こんな状況なら、オンライン講義あるいは部屋を複数用意して、サテライト中継して欲しかったなあと思いました。



ハードなポイントを乗り越え、効果測定を突破し、修了証を交付していただきました。防火・防災管理者の最初の仕事は**消防計画の作成**です。

「防火管理に係る消防計画」とは、防火対象物やテナントにおいて火災が発生しないように、また万一火災が発生した場合に被害を最小限にするため、実態にあった計画をあらかじめ定め、職場内の全員に守らせて実行させるものです。

講義では一般的な話として聞くため、実際にクリニックに適した計画を立てるとなると、消火器の位置、避難経路など疑問点が出てきました。テキストを読み込むだけでは解決しそうになかったため、南消防署大沼分署に連絡し、消防訓練指導をお願いしました。

そして先月、消防職員の方にオギジビに来ていただき、

- 水消火器を使用した消火訓練
- 避難経路の確認
- 消防署への通報のタイミング
- 日常的な防火の意識
- 自力での避難が困難な方の避難援助方法



↑ 消防車で到着



↑ 消火訓練

といったことを詳細に教えていただきました。

これをもとに、オギジビに合った消防計画を作り、南消防署に提出しました。オギジビスタッフ一同、日々の防災に留意し、万が一の際は迅速な行動ができるよう、定期的な避難訓練を行いたいと考えています。

2021年度オギジビ文庫

絵本マスターと相談し、来年度の月刊絵本を選びました。来年度は「こどものとも」「かがくのとも」「いきものづくしものづくし」の3種類です。

「こどものとも」はものがたり絵本です。子どもが主人公だったり、動物や虫が主人公だったり。どんな世界が広がっていくのでしょうか。



食物、植物、生物など、身近なものに興味を持つと、それについて色々なことが知りたくなります。そんな私たちの好奇心を満たしてくれるのが「かがくのとも」です。

絵本マスターのイチオシが「いきものづくしものづくし」です。親子でじっくり読んで欲しいそうです。問題は…絵本の大きさです。収納できるでしょうか。大迫力の絵本、サンドイッチサンドイッチのお隣りが定位置になりそうです。

4月からのオギジビ文庫もお楽しみに！

その後のはなし

8月号でパキラの水耕栽培を始めた、というはなしを書きました。その後、ペットボトルに挿したパキラは残念ながら上手く発根せず、8月の力強い太陽光に焼かれてしまいました。切った場所が悪かったのでしょうか…。パキラの栽培には失敗しましたが、部屋に緑があるのはいいかもしれないと思い、自宅でも観葉植物を育て始めました。カポック(左)は特に元気いっぱい、メキメキと新しい茎が育っています。反対側にも伸びてくれない



と、アンバランスだなあと思っています。ガジュマル(中)にはキジムナーという精霊が宿ると言われているそうです。私のキジムナーのイメージは鬼太郎に出てくる丸い妖怪なのですが、ネット検索すると全く違う姿形をしていました。

右は5年程前に沖縄で見た大主(ウフシュ)ガジュマルです。根っこが凄いですね。本当にキジムナーが住んでいそうです。私のガジュマルはどこまで大きくなるかなあ、と毎日眺めています。(井上理絵)



←キジムナー
大主ガジュマル
に住んでいる
のでしょうか。
水木しげる
妖怪画談
(岩波新書)

作用・反作用って覚えてますか？

かつて学校で習った「作用・反作用」ということばを皆さんは覚えていますか。

物体を押すと押し返され、引っ張ると引っ張り返されることを「作用・反作用の法則」というのです。対になった2つの力は、大きさが等しく、向きが反対で、同一作用線上にあるのだそうです。あのニュートンが発見したと聞きました。でも日常、私たちがこの働きを実感することはそう多くありません。授業で説明を受けた時、私はえ？そんなことが起こっているの？とすごく驚き、あちこち押したり引っ張ったりして「反作用」を実感しようと実験しました。それでもやはり信じられなくて、結局私の物理系の勉強はそのあたりから潰えてしまったのですけれど、、、、。

実は最近、この「作用・反作用の法則」に思いを巡らすことが増えました。力学本来の意味からはズレるのですが、人と人との関係にも「作用・反作用」の概念は大切だなと感じるのです。人との「やりとり」の実感は直接会ってこそ得られるものです。いま人と直接会って作用しあう場面は極端に減りました。おぎじびの臨床は、自らの作用に確実な手応えを頂ける本当に貴重な「作用・反作用」実感の場です。感謝！ (鈴木恵子)

編集後記：カスタネット通信もあっという間に通算10号を迎えました。4月以降も皆さまに興味を持っていただけるような情報をお届けしたいと思います。



おぎはら耳鼻咽喉科